

関西シニア会 会報

発行人 石丸賛治 海旅業界関西シニア会

〒540 大阪市中央区北浜東1-8 ダイナーズ ワールド トラベル 日本駐在事務所内

1994年4月5号

第5回総会を終えて

名誉会長

松添 壮



当会の創立以来2期4年に亘り不肖ながら会長の重責を拝し、お陰様で大過なく満了。ここに石丸新会長にバトンタッチ致しました。無事過し得たのはひとえに樹事務局長、藤岡副会長を始め世話役各位と会員の皆様の御協力の賜物と、この機会に改めて深く感謝申し上げます。同時に新任の石丸会長・辻村事務局長他世話役の皆様には引続き倍旧の御支援をよろしくお願い申し上げます。

超低利益率と不況の嵐の中、我々旅行業界同志は最悪の逆境にめげず、万策を盡して果敢にこの難関を乗り越えつつ、我々シニヤ自身も寸刻でも楽しむ余裕を保ちたいものです。

流水不腐、忙人不老、オリンピック委員会のサマーランチ会長は今73才だが、次の2000年のシドニー大会にも留任意欲満々。鈴木俊一東京都知事が83才の現役で毎日澁刺、負けておれまへん。

会長就任に当り

新会長

石丸 賛治



この度海旅業界関西シニア会会長の大任をお受け致しましたが、前会長松添様の後任と致しまして誠に役不足だと感じて居る次第ですが、メンバーの皆様何分にもよろしくお願い申し上げます。

平成6年を迎えて尚も日本は全国的に経済不況の水河期に入っていて皆な深い沈黙を守り続けています。今暫くは各業界に於いて、リストラや経費及び人件費の見直しが実行され、旅行業界にとっては何一つ明るい材料は見あたりませんが、ここは今暫く我慢の時だと思います。強いて言えば唯一の明るい話題は開港間近に見る関西国際空港です。この業界のみならず全関西が熱い瞳で見えています。関西国際空港の開港をもって再度海旅業界に活気と熱い息を吹き込んでもらいたいものだと思っております。

さて、楽しい話題に移り、シニア会では昨年は前会長ならびに世話役の皆様のお陰で楽しいプログラムを企画して頂き、私自身ゴルフや旅行にあつましく夫婦で参加させて頂きました。今思えば大変時間を掛け下準備の行き届いた楽しいゴルフと旅行をさせて頂いたものだと感謝致して居ります。日頃お目に掛かれないメンバーの方々と接し、又同伴の方の素敵さに触れ、皆で楽しい一時を過ごした思い出は心に永く残ります。これはこのシニア会ならでの演出ですし、又業界を極めたメンバーのパーソナリティーが生き生きとしています。

今年も昨年に続き、前世話役の皆様の良い指導を受けて新役員の中で、レディスとジェントルメンも皆参加出来る多くのプログラム企画にあたりたいと思います。全会員最低年1回は必ず参加頂ける様お願い致します。尚、私共世話役はもちろんの事、この素晴らしい海旅業界関西シニア会の運営に関しても会員全員の積極的な御参加をお願い致します。

総会報告

1月26日大阪ターミナルホテル鳳凰の間に於て、第5回の総会が開催されました。

当日は数名の取消しがありましたが、52名にのぼる多数の出席者を迎え、盛大な総会が開かれました。

会議終了後、恒例の新年会、ゲーム大会と続き、和気藹々の内にお開きとなりました。総会での議題は次の通りです。

議題1 平成5年度会計報告

藤岡副会長より下記決算報告書に基づき説明が行われた後、福井監査役より監査結果は全て正当に処理されているとの発言があり、出席者全員により承認されました。

平成5年度海旅業界シニア会 決算報告書

自 平成5年1月1日
至 平成5年12月末日

支出の部		収入の部	
科目	金額	科目	金額
パーティ費 (総会並びに忘年会)	495,594	入会金	6,000
部会活動費	65,000	年会費	230,000
通信費	88,111	パーティ費 (総会並びに忘年会)	424,000
印刷費	42,230	その他(取消料)	41,715
消耗品/文具用品	7,702	前期繰越金	34,508
雑費	18,540	受取利息	49
計	717,177		736,272
次期繰越金	19,095		
合計	736,272		736,272

平成6年1月20日

作成者 藤岡好子

上記内容監査致しましたが、正確に会計されていることをご報告します。

平成6年1月26日

監査役 福井安司

議題2 会則の変更(第6条の追記)

榊事務局長より会則第6条(資格の喪失)第4項として「前期3項にかかわらず、病気等で当分の間、会活動に参加出来ないと届出があった者については、第15条に定める会費を免除し復帰まで休会員とする」の文言を追加する提案があり、出席者全員の賛同を得て可決されました。

議題3 会則の変更(第15条 会費の変更)

榊事務局長より、会費値上げの件につき下記理由説明があり、出席者多数の賛同を得て平成6年度より年会費を4,000円に決定し、会則第15条の年会費の項「年会費として毎年4,000円を徴収するものとする」に変更することが承認された。

(説明)

◎当会発足当時に比べ郵便料金始め、物価も上昇しており、会の運営に支障を来たす状況になった。

◎不況の折柄、会報への広告掲載の希望もなくなり、収入の道がとざされた。

◎昨年実施したアンケート回答結果を参考に検討し妥当な金額を選んだ。

議題4 世話役の改選

事務局長より今年度は役員幹事の改選期に当たること並びに現役員の方の中にも業務多忙に付き再選されても辞退せざるを得ない方もある等の発言があり、立候補予定者もなき為、事務局長より下記の通り推薦が行われ、出席者全員の賛同を得て承認された。

	新	旧
名誉会長	松添 壮	松添 壮
会長	石丸 賛治	(留任)
副会長	藤岡 好子	(留任)
	山田 晴義	
顧問	榊 重信	榊 重信
事務局長	辻村 脩	(留任)
音楽部	高山 嘉明	浅岡 昭
麻雀部	鬼窪 重夫	雌 次郎
ゴルフ部	須摩 信雄	

議題5 各部会報告と6年度行事予定

音楽部

★1993年は6回企画をしアンケートを実施したが催行したのは1回に止まった。

1993. 6. 26 (土) ザ・シンフォニーホール
ザ・シンフォニー名曲コンサート

大阪センチュリー交響楽団(指揮) 高関 健
2大ピアノ協奏曲の夕べ

(ピアノ) アンドレイ・ガヴリーロフ

チャイコフスキーとラフマニノフ

8会員14名が参加、終了後ホテルプラザラウンジにて歓談

★1994年の第1回鑑賞会は次の通り1月16日に実施しました。

1994. 1. 16 (土) ザ・シンフォニーホール
ザ・シンフォニー名曲コンサート

大阪センチュリー交響楽団(指揮) 天沼裕子
メンデルスゾーンヴァオリン協奏曲

(ヴァオリン) ジョシュア・ベル

ドボルザーク交響曲第9番「新世界より」

4会員7名参加で新春のファンタジーを満喫しました。本年も2ヶ月に一度の割合で企画をしていきたいと考えていますが最大公約数で集約するのは好みが多様化し思うようにまとめ切れないのが現状で会員の中からカラオケ大会の声も上がっていますが、主体は鑑賞会にして肩のこらないポピュラーな企画を目指します。

高山 嘉明

ゴルフ部

ゴルフ部会幹事雌氏より、93年度の実績報告をされた。平成5年度第7回(通算)は4月7日ケヤキヒルGCに於いて、6組23名の参加により実施され、高野宏樹氏が優勝されました。

第8回(通算)は旅行部会との合同催事で8月30・31日、玉造温泉、玉造グランドホテルで前泊、前夜祭は辻村脩氏のご尽力により豪華な料理を頂き、又二次会のカラオケ合戦も盛上がり楽しくさせて頂きました。

翌日は玉造温泉CCに於いて6組24名で行い、西岡喜久男氏が優勝されました。なお、当日は石丸夫人、榊夫人も参加いただきコンペに花を添えていただきました。以上ご報告申し上げます。

第9回のコンペを宝塚市のケヤキヒルGCに於いて開催します。なお第10回は合同催事として8月か9月に記念行事として行いたいと考えております。懇親の場として大いにご活用下さい。

須摩 信雄

麻雀部

この度、伝統あるシニア会の“麻雀クラブ”部長を仰せつかり、微力ながら会員の皆様の親睦の一助として、お手伝いさせて戴きます。ご協力の程、宜しく願い申し上げます。

鬼窪 重夫

連絡先：トラジャル旅行ホテル専門学校

☎06-447-0051

旅行部

平成5年8月30～31日の両日、ゴルフ部と共催で山陰グルメの旅を実施し、36名の多数の方々が参加されました。当日は9時阪神ホテル前に集合し、貸切バスにて玉造温泉をめざし、途中松江城を見学し夕刻に現地玉造温泉長生閣に入りました。早速に温泉で疲れをいやして夕食の宴となり、盛り沢山の山海の珍味を賞味。

宴の終わる頃には、二次会の準備されたカラオケルームへと流れ込み、それぞれに多芸のご披露があり、楽しい一夜を明かしました。

翌日はゴルフ部と別れ、出雲大社・足立美術館を見学し、再びゴルフ部の方々と合流帰路に着きました。今回の旅行には、事務局の榎・藤岡両氏並びに雌・須摩両幹事のご協力と参加多数の支援により成功を修め得たことを感謝致します。

尚旅行は、ゴルフや音楽・麻雀・囲碁等と違い、誰でも参加出来ることとしましたので、**本年度より当会の行事として、会員各位にご協力頂き実施することになりましたので、よろしくお願い致します。**



大山にて

新入会員のご紹介

此の度新たに下記の6名の方々が入会されましたので、お知らせ致します。

奥 澄明	国際開発
奥沢 邦彦	ポップツアー
佐伯 弘行	エア・パシフィック
斎藤 博	ヴィータ販売本部
正田 展祥	日本航空(株)相談室
高橋 昭	駿台ホテル観光専門学校

事務局便り

事務局長退任あいさつ

この度事務局長を退任することになりましたが、改めてこの紙面を借り、在任中皆様から頂いた多大なご協力とご支援に対し厚く御礼申し上げます。

本来ならこのシニア会設立を提案した1人として、ずっとシニア会のお世話をすべきだと存じますが、職場環境の変化に加え、2期4年を務め自身の考えがマンネリ化してきたことを感じ、この辺りで新風を入れるために交替すべきと今回で退任することにしました。今後は、会のため側面からお手伝いさせていただく所存ですので、何卒ご理解賜りますようお願いいたします。なお、新事務局長の辻村氏は小生と同じく会の設立から関わってこられた方で、小生同様、皆様のご協力・ご支援を辻村氏にも頂きますようお願いいたします。

榎 重信

事務局長就任に当り

私こと此の度シニア会榎事務局長の後任として事務局の仕事を抑せ付かりましたが、何分役不足にて会員の皆様にご迷惑をお掛けすることもあると存じますが何卒よろしくご指導ご支援の程お願い致します。

松添会長・榎事務局長両氏に於かれては、当会創立時より、海旅業界シニアクラスのリーダーとして、当会の運営・発展のため公私にわたり大変な努力を重ねられ、やっと基礎が固まり安定したばかりの所で退任されることは私達にとって残念です。しかし会長・事務局長共に将来の新空港開港にともなう関西海旅市場発展の重責を果たす為の仕事に専念されることであり、ご多忙の為、止むを得ませんが引続き松添氏には名誉会長で榎氏は顧問として、ご指導ご支援をお願い致します。

辻村 脩